

第3回八ヶ岳 STARGP

【大会ルール】

●コース

八ヶ岳自然文化園内 ストライダーエンジョイ Park (ストライダー認定コース)

●レース形式

「予選⇒敗者復活⇒準決勝⇒決勝」の4ステップ
(参加人数により準決勝を行わないクラスあり。)

- ① 予選は各レース上位3名が準決勝に進出。
- ② 敗者復活は各レース上位3名が準決勝に進出。
- ③ 準決勝は上位2名が決勝に進出。
- ④ 決勝は最大6名で優勝を目指す。

●スタート

- ・スタートゲートを設置する。
- ・スタートエリアの保護者の同伴は可能。
- ・スタートの合図がはじまったら、保護者は選手から一步離れなければならない。
- ・スタート時に子どもの背中を押してはならない。
- ・選手がスタートするゲートの割り当ては、くじ引きで決定する。

●ゴール

- ・選手が乗車するバイクの前輪の先端が、ゴールラインの垂直線上に達した時点をゴールと見なす。
- ・複数の選手がほとんど同時にゴールライン上を通過するなど、順位の判定が困難な場合は、判定人数による多数決により順位を決定する。
- ・順位は大会主催者によって決定され、大会当日に会場にて決定された順位の変更は行わない。

●併走について

- ・レース中において保護者のコース内立ち入りはできない。転倒などのトラブルに関してはコース内ヘルパーが対応する。ヘルパーが対応しきれない場合は、ヘルパーやレース MC の判断で、保護者のコース内への立ち入りを許可する。

●表彰について

- ・入賞：各クラスの決勝進出者と1位から3位までの順位を確定し表彰を行います。

●車両

- ・タイヤは12インチ以下のランバイク（ペダルの無いもの）に限る。
- ・エアータイヤの使用を不可とする。（EVAポリマー製などのノーパンクタイヤのみ可）
- ・ブレーキ装置の装着は不可とする。（ブレーキ動作による後続車両の追突を防ぐため）
- ・ドロップハンドルは禁止とする。
- ・ハンドルバーには樹脂製もしくはラバー製のグリップが装着されていなくてはならない。ハンドルバーエンドはグリップで覆われているか、バーエンドキャップを装着しなければならない。また、グリップもしくはバーエンドキャップが擦り切れるなどしてハンドルバーエンドが露出しているはいけない。
- ・保護者によって安全に整備された車両でなくてはならない。
- ・車両の安全性に問題があると運営委員が判断する場合は、出走をお断りする可能性があります。

●服装

- ・ヘルメットは必ず着用しなければならない。ヘルメットは頭部に適したサイズの物を正しく着用し、ストラップは確実に締められていなければならない。
- ・手指を保護するグローブ（普通の手袋、軍手、第二関節から指先が空いたタイプのものでも可）を着用しなければならない。
- ・長袖、もしくは七分丈のシャツの着用が必要です。肘を保護するプロテクターを着用する場合は半袖でも問題ありません。
- ・長ズボン、もしくは七分丈のズボンの着用が必要です。膝を保護するプロテクターを着用する場合は半ズボンでも問題ありません。

●ゼッケン

- ・主催者より配布されたゼッケンプレートは、ハンドルバー前方に向け、明確に視認できるよう取り付けなければならない。

●カテゴリー

2才の部・3才の部・4才の部・5才の部 ※レース当日時点の年齢で区分けされます。

●走行可能エリアについて

- ・レースコース及び試乗会場以外での園内の走行はできません。

●運営について

- ・運営方法やコース設定、スケジュールの変更を行うことがあります。予めご了承ください。

●写真について

- ・撮影された写真は次大会のポスターなど広報に限って使用することがありますことをご了承ください。